

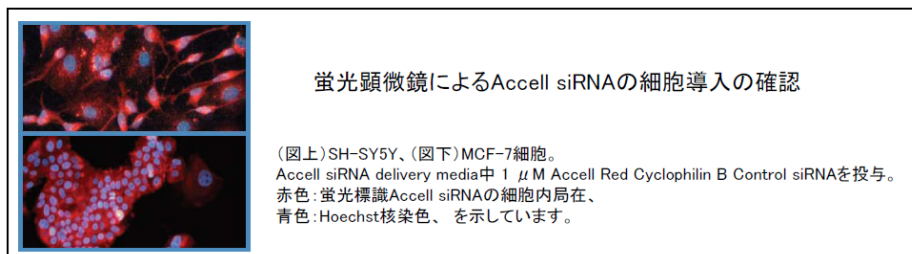
分析機器部門講習会シリーズ

『自己導入型siRNA試薬Accell siRNA』を用いた新しいsiRNA実験』セミナー

【概要】 siRNAを用いた遺伝子ノックダウンは、その特異性の高さと簡便な操作により急速に普及いたしました。一方、合成系siRNAを使った実験は一過性のノックダウン効果であること、またsiRNA導入が困難な細胞への対応などが課題となっています。

この度ご紹介いたしますAccell siRNAは、弊社独自の化学修飾基を導入したsiRNAです。これにより、Accell siRNAはトランスフェクション試薬を用いずに細胞に導入されます。導入条件の至適化が容易なため、ノックダウン実験を従来法より簡便に行うことができます。また、この新しい導入メカニズムは従来法では導入が困難であった神経細胞、浮遊細胞や初代培養細胞を実験材料として利用することが出来るので、研究対象が広がります。さらに、細胞障害性の少ない導入メカニズムは、細胞を継代しながら長期に渡るノックダウン効果を持続することができます。

今回のセミナーでは一般的なRNAi実験の流れに沿って課題と改善について考察しながら、Accell siRNAでご提供できる新しいソリューションについてご紹介いたします。



- 日 時 : 平成 23 年 1 月 27 日 (木) 1 回目 11 : 00~12 : 00、2 回目 14 : 00~15 : 00
- 受講対象 : 利用者
- 講習内容 :
 - ・ RNAi と オフターゲットメカニズム
 - ・ siRNA 実験-成功のための条件至適化
 - ・ Accell siRNA の基礎と実際
- 場 所 : 分析機器部門遺伝情報解析室研究室 4 (実習講義棟 2 階共同研究室 1)
- 定 員 : 15 人
- 受講料 : 無料
- 申込期間 : 平成 23 年 1 月 21 日 (金) まで

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

(内線: 2403, Email: yitoh@med.nagoya-u.ac.jp)

* Web でも講習会情報を掲載しています(URL: <http://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/>)